

神戸市にお住まいの皆様へ

神戸市健康局政策課長

「神戸市における新型コロナウイルス感染症流行期の行動変容と その健康への影響に関する分析」の研究実施について

神戸市は、市民の皆さまの健康データを活用し、保健事業の評価を行うため、神戸市が保有する医療・介護データ等を連結し、分析しています。

この度、神戸市は、一般社団法人日本老年学的評価研究機構が世界保健機関健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）から委託を受けて実施する、神戸市における新型コロナウイルス感染症流行期の行動変容と健康への影響を検証する下記の研究に協力しますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 研究課題

神戸市における新型コロナウイルス感染症流行期の行動変容とその健康への影響に関する分析

2. 研究目的

新型コロナウイルス感染症が市民の健康に与えた影響の大きさが指摘されています。例えば、新型コロナウイルス感染症流行期に、外出や人との交流、社会参加などの頻度を減らした高齢者は、頻度を維持した高齢者に比べてフレイルなどの健康リスクが高くなっている、などの懸念が挙げられます。しかし、そうした新型コロナウイルス感染症の流行により引き起こされた行動変容が、健康に与えた影響の調査研究は十分でなく、特に壮年期を対象とした調査分析が少ない状況にあります。

そこで本研究は、壮年期から高齢者まで、新型コロナウイルス感染症の流行による受診抑制や健康行動の変化、それらによる健康二次被害の実態を明らかにし、今後のwithコロナや新規感染症のパンデミックに備えた新たな政策提言を行うことを目的に実施します。

3. 研究対象

神戸市民のうち、下記①～③のいずれかに該当される方。

- ①2016（平成28）年4月～2023（令和5）年3月までの間に医療・介護・健診サービス等を受けた20歳以上（2003（平成15）年3月31日以前生まれ）の方。
- ②神戸市が2018（平成30）年、2023（令和5）年（※）に20歳～64歳の神戸市民を対象に実施した「市民の健康とくらしに関する調査」に回答された方。
- ③神戸市が2016（平成28）年、2019（平成31・令和元）年、2022（令和4）年に65歳以上の神戸市民を対象に実施した「健康とくらしの調査」に回答された方。

※2023（令和5）年に実施の「市民の健康とくらしに関する調査」は、別途神戸市と日本老年学的

評価研究機構が共同事業として実施しました。

4. 研究内容

新型コロナウイルス感染症流行前後において、20歳以上の神戸市民の行動変容や健康状態の変化等に着目し、下記①～⑦について、パンデミックの影響を受けやすい心身の特徴や脆弱層を特定し、健康格差の実態を把握します。また、それらの要因を検証し、健康格差の是正及び新たな健康危機に備えるための政策提案を行います。

<分析内容>

- ①生活習慣や健康行動の変化（運動・食事・社会的交流等）
- ②健康状態の変化（高血圧・高脂血症・認知症等）
- ③健診受診や予防接種の接種状況等の変化
- ④医療の受診控えや服薬中断によるその後の精神的な健康への影響
- ⑤新規要介護認定状況の推移と関連要因の検証
- ⑥孤立・孤独や口腔衛生への影響
- ⑦パンデミックにおける行動自粛等の地域間格差による健康への影響

5. 個人情報の保護

個人情報漏洩を防ぐため、氏名や住所など個人を特定できる情報を削除したデータを日本老年学的評価研究機構に提供し、共同研究者とともに統計解析が行われます。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会発表や論文等）の際には、住民の皆さんを特定できる情報は一切含まれません。

6. 研究に用いる情報の種類

研究に用いるデータは、通常の保健事業及びアンケート調査で収集される以下の既存情報とします。

①医療・介護・健診サービス等に関するデータ

- ・診療報酬明細書（医療レセプト）データ【国民健康保険・後期高齢者・生活保護】
（患者基礎情報、傷病情報、医薬品情報、診療行為情報、入院情報等）
- ・介護給付費明細書（介護レセプト）データ（要介護状態、利用サービス等）
- ・健診・検診データ【国民健康保険・後期高齢者・がん検診】
（基礎情報、健診結果、検査データ等）
- ・介護認定調査票データ（日常生活自立度、ADL、要介護度等）
- ・被保護者調査のための行政記録情報（保護受給開始・廃止年月、保護の状態等）
- ・予防接種の接種状況（接種内容、接種回数等）
- ・転入・転出・死亡日等の異動・喪失事由

②「市民の健康とくらしに関する調査」（2018（平成30）年・2023（令和5）年）の回答結果

- ・社会経済状況（家族構成、所得、生活状況等）
- ・健康状態（健康状態、既往歴等）

情報公開文書

- ・生活習慣（運動、飲食、喫煙等）
- ・心理状態（うつ、幸福度等）
- ・医療・健診・検診受診状況（医療、歯科・口腔、健診・人間ドック、がん検診の受診歴等）
- ・地域・社会参画状況（交友関係、地域活動等）

③「健康とくらしの調査」（2016（平成28）年・2019（平成31・令和元）年・2022（令和4）年）の回答結果

- ・社会経済状況（家族構成、所得、生活状況等）
- ・健康状態（健康状態、既往歴等）
- ・生活習慣（運動、飲食、喫煙等）
- ・心理状態（うつ、幸福度等）
- ・医療・健診受診状況（医療、歯科・口腔、健診・人間ドック受診等）
- ・地域・社会参画状況（交友関係、地域活動等）

※ただし、②・③のうち、調査結果の研究利用に同意されていない方の回答結果は研究に用いません。

7. 予定研究期間

2023（令和5）年8月（倫理審査承認日）から2025（令和7）年12月31日

8. データ提供時期

2023（令和5）年9月以降順次（予定）

9. 研究組織

- ・研究代表機関
一般社団法人日本老年学的評価研究機構：研究代表者 近藤 克則
- ・共同研究者所属機関（研究実施・データ保管場所）
京都大学：研究責任者 近藤 尚己
東京医科歯科大学：研究責任者 相田 潤
日本福祉大学：研究責任者 斉藤 雅茂
東京大学：研究責任者 高木 大資
筑波大学：研究責任者 辻 大士
千葉大学：研究責任者 近藤 克則
- ・情報の提供のみを行う機関
機関の長：神戸市長 久元 喜造
取扱責任者：健康局政策課長 渡辺 元樹

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等ありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせください。他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが

情報公開文書

できます。また、情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には、研究対象から除外することができますので、下記の連絡先までご連絡ください。研究対象から除外する場合でも、市の医療・介護・保健サービスを受けるにあたって不利益が生じることはありません。ただし、日本老年学的評価研究機構においてのデータ分析作業が開始後は、技術上、研究対象からの除外に応じられないことがあります。

(研究内容について) 一般社団法人日本老年学的評価研究機構 代表理事
研究代表者 近藤 克則
〒277-0814 千葉県柏市正連寺 394 番地 11 中央 133 街区 6
TEL : 04-7157-0996
E-mail: : jages-office@jages.net

※日本老年学的評価研究機構情報公開文書 :

<https://www.jages.net/project/who-overseas/kobecityandwhokobecenter/>

(データ提供について) 神戸市健康局政策課
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
Tel : 078-322-5431
E-mail: hcd@office.city.kobe.lg.jp